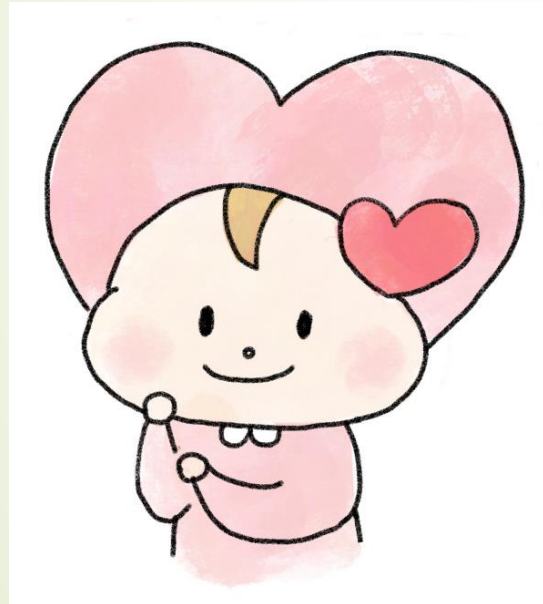


第1層生活支援コーディネーターの 取り組みについて



第1層生活支援コーディネーター（仙台市社会福祉協議会 泉区事務所） 相澤 徹

はじめに

- ★区役所、地域包括支援センター、市社協 区事務所のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）として第1層生活支援コーディネーター設置前から地域づくりの活動に関わらせていただいております。
- ★令和2年度より、仙台市が第1層生活支援コーディネーターを設置し区役所 障害高齢課、区内の地域包括支援センター 機能強化専任職員と協働・連携し、区内の地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。

生活支援コーディネーターについて①

- ・ 仙台市内各地域包括支援センターの圏域を**第2層圏域**としています
(泉区は、12ヶ所 地域包括支援センターを設置しています)
- ・ 仙台市では、市内の地域包括支援センターの機能強化（地域づくり、生活支援サービスの充実、認知症の対応強化）を目的として、
「第2層生活支援コーディネーター」と**「認知症地域支援推進員」**
を兼ねる**「機能強化専任職員」**を配置しています。



生活支援コーディネーターについて②

- ・ 第1層生活支援コーディネーターは、令和2年4月より設置されております。
- ・ 社会福祉協議会が今まで取り組んできた地域福祉推進のための基盤を活用することが合理的なことから、仙台市社会福祉協議会に設置の委託をしております。
- ・ 具体的には、仙台市社会福祉協議会 各区、宮城支部事務所に1名ずつ配置しております。
- ・ 区事務所・宮城支部のCSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）が兼務しています（事務所長代理・係長職）。



生活支援体制整備について (仙台市)

圏域 (概念図)

第1層圏域 (=区・宮城総合支所)

第2層 圏域 (=各地域包括支援センター圏域)
※泉区内は、1 2ヶ所の地域包括支援センター

A包括

B包括

C包括

D包括

...

配置職員

第1層生活支援
コーディネーター

相談

アドバイス

CSWとしての
活動

機能強化専任職員
(第2層生活支援コーディネーター兼
認知症地域支援推進員)

第1層生活支援COの取り組みについて

ここから、具体的な取り組みについて
仙台市から委託されている
三者ミーティングを通じてご説明します



三者ミーティングについて

- ★ 泉区では、三者ミーティングが2種類あります。
- ★一つは、各包括ごとに障害高齢課、家庭健康課の保健師等で実施している、地域課題の情報交換会（共有ミーティング）。
- ★二つ目は、ほぼ毎月（2月はお休み）実施している、機能強化専任職員定例会です。

地域課題の情報交換会

- ★各地域包括支援センターごとに、社協の他、障害高齢課 地域支援係 保健師と、家庭健康課保健師（それぞれ地区を担当している保健師） 援コーディネーター等が参加。
- ★各包括圏域ごとに、高齢・障害分野、子どもの支援、地域の健康づくり（生活習慣病の地域ごとの傾向など）を話し合い、地域ごとの取り組みに繋がっています。
- ★この情報交換を通じ、いくつかの取り組みが生まれています。

取り組み事例①

★スーパーの店内放送を活用した地域包括支援センターのPR放送、共通ポスターの掲示。

- ・コロナ禍で、包括のパンフの設置を断れる事例が多いことが分かり、店内放送を活用したPRは可能かと提案がある。
- ・いくつかのスーパーと相談したが、ヨークベニマル様が手をあげていただき、店内放送の原稿を第2層と協力して作成し、店内放送で流していただく。
- ・共通ポスターを全包括、区役所と相談し作成、第1層生活支援COが、本社に相談、各店舗の了解を得て店内の掲示板に貼っていただき、PR活動を実施した。



こんにちは！地域包括支援センターです。
 私たちは地域に暮らす高齢者の相談窓口で、
 泉区には12か所あります。 令和4年1月1日現在

包括名	住所	連絡先	担当区域
泉中央地域包括支援センター	泉中央2-16-1 トレスピーノ泉中央1階	372-8079	七北田中学校区
将監地域包括支援センター	将監10-18-13	772-5501	将監東中の一部 将監中学校区
寺岡地域包括支援センター	寺岡1-2-5	378-8886	寺岡中学校区
高森地域包括支援センター	高森4-2-608	341-3665	将監東中の一部 高森中学校区
松森地域包括支援センター	鶴が丘1-30-3D-2	772-6220	松陵中の一部 鶴が丘中学校区
向陽台地域包括支援センター	向陽台4-7-14 伊藤コーポ102号	343-1512	松陵中の一部 向陽台中学校区
南光台地域包括支援センター	南光台南1-14-27 コーポUMEMORI1階	251-8850	南光台中学校 南光台東中学校区
八乙女地域包括支援センター	黒松2-19-7 第3えりあビル101	301-9811	八乙女中学校区
虹の丘・加茂地域包括支援センター	虹の丘1-10-6	373-9333	加茂中学校区
長命ヶ丘地域包括支援センター	長命ヶ丘1-12-11 モウジュンビル101	725-3068	長命ヶ丘中学校区
南中山地域包括支援センター	南中山3-2-15	343-5561	南中山中学校区
根白石地域包括支援センター	根白石字清水屋敷35-1	376-8310	根白石・館・住吉台 中学校区

いつまでも元気に自分らしく過ごすためにも
 みなさんの健康のこと、運動のこと、将来の
 ことなど、生活に関する不安や悩みをお気軽
 にご相談ください！！



発行・協力

泉区内各地域包括支援センター・仙台市社会福祉協議会 泉区事務所
 泉区役所（泉区保健福祉センター）障害高齢課

取り組み事例②

★みんなスマイルプロジェクトの取り組み

- ・地域課題の情報交換会の意見交換の中で、高森地域包括支援センターの圏域では生活習慣病、特に糖尿病に罹患している人たちが地域に多いということ共有されました。
- ・取り組み当初は、T-Caféという名称で、包括、障害高齢課、家庭健康課、社協が協力し、生活習慣病に関する地域向けの研修会を開催し、取り組みを継続する予定でした。
- ・ところが、新型コロナウイルス感染症が拡大し、研修会の開催が難しくなり、代替の取り組みについて健康増進センター、児童センター等も参画し、泉ヶ丘地域で、健康づくりマップを作製しました。
- ・令和4年9月には、マップを活用したイベントを、関係機関の他、地区社協や町内会等の協力も得て開催することができました。

ウォーキングをすると…

- 生活習慣病の予防・改善
- 筋力や持久力の維持・向上
- 体脂肪の減少 ○ストレス解消

【ちょっと豆知識】

食後 30～1 時間頃に有酸素運動(ウォーキングなど)や筋力トレーニングを行うと、糖尿病に関わりのある“血糖値”の急上昇を抑えることができます。

安全に運動を行うために

- 体調に合わせて歩くスピードや距離、コースを調整しましょう。
- 準備・整理運動をしっかり行いましょう。
- こまめに水分補給をしましょう。

ウォーキングのポイント



仙台市健康増進センター 『ウォーキングのすすめ』より抜粋

みんなスマイルプロジェクトのメンバー

泉ヶ丘児童センター



児童館・児童センターは0歳～18歳まで、どなたでも利用できる施設です。
☎ 372-1002

子育て

泉区家庭健康課



栄養士、歯科衛生士、保健師に相談することができます。(東庁舎4階)
☎ 372-3111

健康

泉区障害高齢課



障害者・高齢者に関するご相談をお寄せください。(東庁舎1階)
☎ 372-3111

高齢

仙台市健康増進センター



みなさんの健康づくりを応援する施設です。トレーニングマシンもあります。各種教室・講座も行っていきます。
☎ 374-6661

高齢地域生活支援センター



地域の相談窓口です。健康や介護、生活に関する不安や悩みなど、お気軽にご相談ください。
☎ 341-3665

生活

仙台市社会福祉協議会 泉区事務所



どんな困りごとでもお伺いします。個人の悩みの他、地域活動やボランティアについても承ります。
☎ 372-1581

困ったな、知りたいな
小さなことでも お気軽にご連絡ください！



泉ヶ丘

①泉ヶ丘児童センターキッズター「サンちゃん」

みんなスマイル

おさんぽマップ

【第1版】



みんなスマイルプロジェクト

「みんなスマイルプロジェクト」とは、泉ヶ丘地区にお住いの方の「健康」と「楽しいこと」を考えるため、関係機関が集まってワイワイ話している自由な場です。

発行元：みんなスマイルプロジェクト

★ マップについては、社協、包括、区役所健康増進センターのスタッフが手作りで作成しました。

★ マップは、地域包括支援センター、コミュニティセンター、児童センターや地域の店舗に設置しました。

★ 次年度は、多世代交流メインとしたイベントを開催予定です。



機能強化専任職員定例会

- ★毎月1回（2月は除く）、区障害高齢課 地域支援系の保健師、各地域包括支援センターの機能強化専任職員（12名）、第1層生活支援コーディネーター等が参加。
- ★各地域の活動状況の共有の他、年間で取り組み内容を設定し区役所機能強化専任職員、第1層生活支援コーディネーター等が連携・協働し取り組んでいます。
- ★機能強化専任職員が設置された、平成27年度より実施しています。

定例会での第1層生活支援COの役割

- ★CSWとしての活動を基盤とし、各包括圏域における地域活動のフィードバックと、アウトリーチによる支援。
- ★それぞれの活動圏域の情報収集と発信。
 - ※「地域活動応援隊だより」の発行
- ★ 機能強化専任職員の学びの場の提供（R4年度より）。
- ★ 年度内に3つ+aの研修を実施。
 - ※a分は、地域包括ケア推進課様の協力を得て、市民協働型フレイルサポーター事業、アウトリーチ事業について勉強会を開催しました。

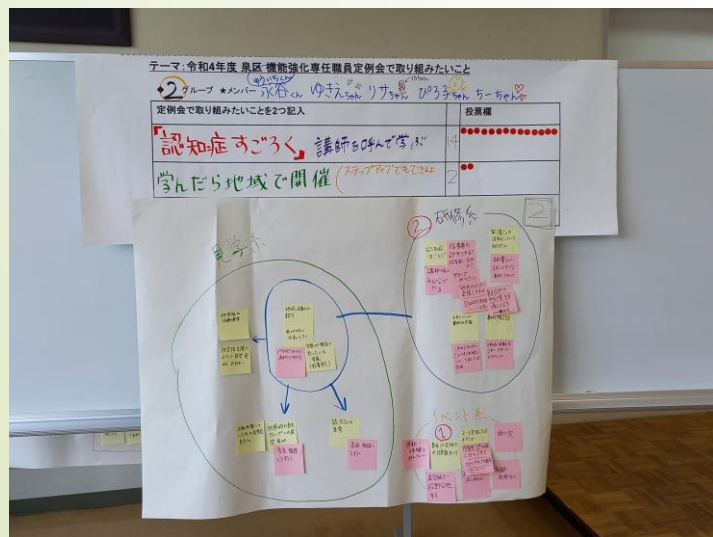
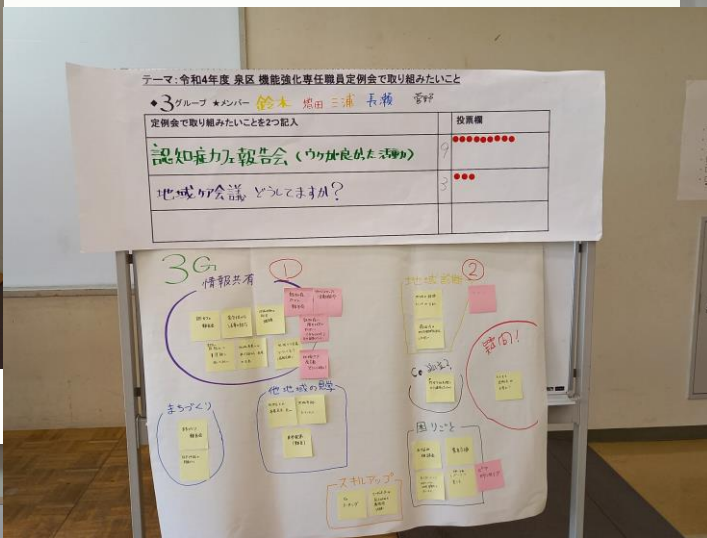
今年度は、話し合い&投票で取り組み内容を決めました



グループに分かれて、定例会の場でどのようなことを学び合いたいか、熱心に話し合い、グループワークに取り組みました。



今年度は、話し合い＆投票で取り組み内容を決めました



発表した取り組み案で、何をしたいか、全員で投票して3つの取り組みを決めました。

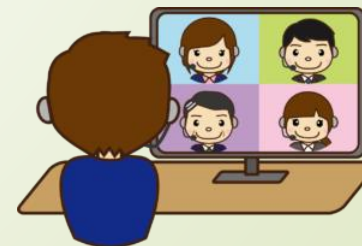


地域活動応援隊だよりの制作・発行①

- ・ 令和2年度のはじめ、緊急事態宣言発出などで、地域活動は全面中止し、機能強化専任職員定例会も、4～6月まで中止となりました。
- ・ 皆さんが、どのように動いてよいかわからない状況の中、区役所と相談し各地域包括支援センターの機能強化専任職員へアンケート調査を実施しました。



この時のアンケートは、電子メールで実施しました。
まだ、オンライン会議が普及する前でした・・・
今だと、色々と活用してもっとよい取り組みが生まれたのかも・・・



地域活動応援隊だよりの制作・発行②

- ・ アンケート調査の結果、コロナ禍の中、各地域でどのような動きをしているか、活動の再開について、どのようなアドバイスをしたらよいかわからない等の声が聴こえてきました。
- ・ 令和2年の7月から、定例会が再開し、コロナ禍での地域活動を応援しようという主旨から、各地域の活動を地域包括支援センターの機能強化専任職員が取材し、広報紙（A4 表裏一枚）を発行し、各地域包括支援センターを通じ地域に配布する取り組みを開始しました。



地域の活動を応援したい！



第1号 (vol1) 令和3年1月発行



発行日：令和3年1月 発行者：地域活動応援隊

はじめまして！地域活動応援隊です！

地域活動応援隊は、『地域活動の継続や再開に迷っている皆さんのお手伝いがしたい』という思いのもと、泉区役所障害高齢課、仙台市社会福祉協議会泉区事務所、泉区内の地域包括支援センターで結成されました。

今回は新型コロナウイルス禍の活動状況について取材を行い、様々な工夫や活動への思いなど、たくさんの方のアドバイスをいただきました。

活動再開した方も、活動に迷いを抱えている方も、ぜひ参考にしてみてください。お互いに情報交換し、一緒に考えていきましょう！

松陵にっこりクラブ

- 【活動内容】 高齢者健康体操（運動自主グループ）
- 【活動場所】 松陵2丁目集会所
- 【活動日時】 月2回（第1・第3木曜日）10:00~11:00
- 【担当包括】 松森地域包括支援センター
- 【モットー】 「笑顔が絶えない、明るく楽しく体操を行う」



【コロナ対策で工夫していること】

- ①新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、休会をする時、自宅で体操を行えるよう、体操のリーフレットとおトク体操のCDを配布。
- ②広い場所（間隔がとれる）と、使用した椅子の消毒（会員の皆様も行う）。換気を行って実施する。密な時間を避けるため活動時間を90分→60分に短縮。
- ③体調管理をしていただき、自宅で検温して来場。体調が優れない時は、休んでいただくようお願い。

休止中も運動が出来るように！

【活動再開時の感想】

自宅に閉じこもっている期間、親しい人、体操仲間と会話ができず、また、自発的に体操を行う機会が少なかった分、再開を待ちわびていたことが十分伝わった。

【その他工夫している取り組み】

- ①従前のようにフルメニュー（内容・時間）とはいかない中で、必要最小限のメニューとして60分で実施。
- ②グループとしてやれる範囲で地道に続けることが大事！

再開直後は広い会場で開催！など3密対策！



【読者・他団体へのひとこと】

- ①感染拡大防止のため、何をするか、できるかをサポーターで話し合い対策を講じた。
- ②参加する・しないを会員に判断していただくため検温と体調をみていただくようお願いした。
- ③状況に応じた体制と対応で活動していきたい。



記念すべき創刊号です。区役所のお力を借りて発行することができました！

上の写真は、発行当時の区役所職員、包括職員との集合写真です。地域福祉の情報紙の取材を受けて表紙にもなりました♪



現在も継続して発信しています（～vol7）

地域活動応援隊だより Vol.5

【発行者】地域活動応援隊
【発行日】令和4年6月

ご挨拶

私たちは、「地域活動の継続・再開に迷っている皆様のお手伝いをしたい」という思いのもと、地域活動を紹介しています。コロナ禍の活動に迷いながら頑張っている方がたくさんいらっしゃいます。ご紹介する記事が、これからの活動のヒントになれば幸いです。

地域活動応援隊って？

- 泉区役所障害高齢課
- 仙台市社会福祉協議会泉区事務所
- 泉区内の地域包括支援センターで結成し、活動しています。

今回紹介する内容は・・・

- ①高森地区 ②向陽台地区 ③鶴が丘地区
のきらりさん・きらり団体です

高森

高森8丁目イキイキ歩こう会



宮城県森林インストラクターの資格を活かし、地域の散歩会や小中学校の課外授業で活躍する一方、結成25年の山の会「遼山会」リーダーや地域のマージャン教室で嬉しく毛利成志さんを紹介します！

【きっかけ】コロナの影響で地域活動がストップした中、運動+会話+3密回避でできることを考え「どうだ！みんなぞ歩こう！」となり、令和3年3月にスタートした高森8丁目イキイキ歩こう会。毛利さんは2つの地域で活躍中！



【これから】山の会「遼山会」で日本国内を巡る毛利さん。ちかく利尻島・礼文島に行く予定があるそうです。これからも地域の皆さんに楽しいお話を沢山聞かせてください、いつもありがとうございます！

【散歩会の様子】宮城県森林インストラクターの資格をもつ毛利さん。散歩中に見かける草木や鳥のことをなんでも知っています。毎回「なるほど～♪」と思うお話を参加者に関らせて下さいます。

高森地域包括支援センター ☎341-3665

ハ乙女

自主グループ「いきいき」

【活動内容】運動自主グループ
【活動場所】旭丘いずみ集会所
【活動日時】毎週月曜日 10:00～12:00
【担当包括】ハ乙女地域包括支援センター

【参加者からの声】
「これがあるから毎週頑張ってる外に出ています。」
「あと一回！あと1cm！がうれしいことありますね（笑）」
「長年やっているから、これからも続けていきたいです。」

【周知方法】

チラシの他、口コミ等で周知しております。活動期間は10年を超え、地域に根ざしたグループです。毎週月曜日の定期開催で、旭丘いずみ町内会の皆様にご参加されております。**【コロナ対策で工夫していること】**換気はもちろんですが、手指消毒と出欠の確認を行っています。水分補給を多めに声掛けしながら、休まないで活動をしています。

【参加者が楽しむための工夫】

参加者が飽きないよう、毎週の運動メニューが変わります。1時間半程度の運動ながら、「運動した！」という充実感が得られます。



【読者・他団体へ一言】

グループが始まってから10年以上…。長年の経験を活かした体操と、語りの口調が癖になります。自棄で固まってしまった身体をほぐしにいらしてください！

～連絡先～ ハ乙女地域包括支援センター
住所：仙台市泉区黒松2-19-7
電話：022-301-9811（月曜～金曜 8:30～17:30）

泉中央

こもればカフェ

【活動内容】認知症カフェ
【活動場所】社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会 工房かやの実 喫茶店
【活動日時】偶数月の第1または第2金曜日 10:00～11:00
【担当包括】泉中央地域包括支援センター

【周知方法】

当日の参加者に次回のご案内をお渡ししたり、住所などお知らせいただいている方には開催日近くにチラシを再度送付してご案内しております。**【参加者からの声】**

8月は、糸かけアートにチャレンジ♪「楽しくて時間があっという間だった」「もう少しやりたかった！」などのお声をいただきました。

【読者・他団体へ一言】

会場は、美味しいパンが好評の「工房かやの実」さん。帰りにパンを買って帰る方も多いです。ぜひ遊びにいらしてください。

～連絡先～ 泉中央地域包括支援センター
住所：仙台市泉区泉中央2丁目16-1 H&Dビル/泉中央1階
電話：022-372-8079（月曜～土曜 8:30～17:00）

現在は、vol7まで発行しています。地域包括支援センターの皆さんで、楽しく、中身の濃い紙面を作っています。



認知症サポーターステップアップ講座の 取り組み①

- 平成30年度から「認知症サポーター養成講座」の修了者が、地域での活動に繋がっていけるよう、各包括圏域ごとに開催した研修会（4～5回コース）の実施しました。
- 開催包括の機能強化専任職員だけでなく、他の圏域の機能強化専任職員も、開催チームに加わり、企画、当日の運営補助を行いました。
- コロナ禍の令和2年度は中止せざるを得ませんでした。令和3年度は、区役所包括、社協だけでなく、地域の方々も企画に参加し実施しました！

👉 自分の包括以外の地域の状況を知ることができたり、泉区全体としてこの事業を推進しているという一体感を感じることができました。

⇒ 区域としての事業の推進

令和3年度の様子（向陽台）①



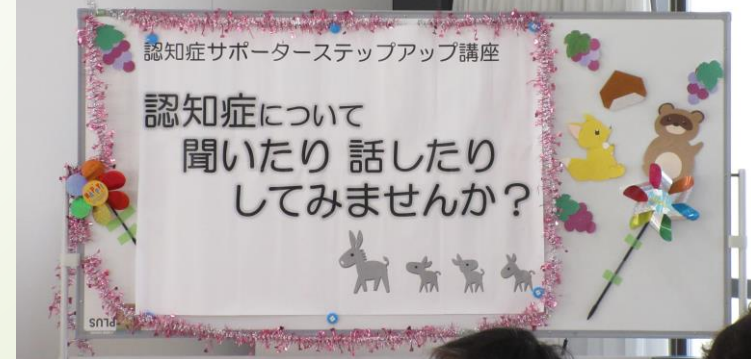
地域包括支援センターの機能強化専任職員を中心に、区役所、社協のメンバーの他、地域のみなさんも熱心に企画会議に参加していただけました！



令和3年度の様子（向陽台）②

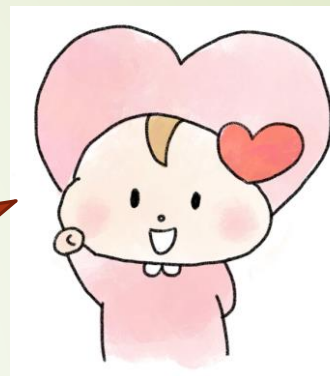


感染症対策を十分にしながら、たくさんの地域の皆様の参加をいただき、熱心な話し合いをすることができました。
今は、町内会単位でこのような研修を実施しています。



令和4年度の様子（泉中央）

令和4年度は、泉中央包括の圏域で実施しました。当事者や
そのご家族にも来ていただき、地域での認知症支援について
「こんなことができるよね！」と話し合いが楽しくできました。



おわりに

- ・行政、包括、社協と連携・協働することで、様々な取り組みや、経験をさせていただいております。
- ・当然、このような取り組みには地域の皆様との関わりもあり、地域包括ケアシステムの構築までのプロセスの中で、コーディネーターの役割をひしひしと感じています。
- ・今後も、行政、地域包括支援センター、地域の皆さんが、泉区に住んでいて安心できる、仙台に住んでいてよかった、楽しいと思える、地域づくりを皆さんで力を合わせていきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました

